

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 1月 18日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471503171		
法人名	陽気株式会社		
事業所名	グループホームようき法成寺		
所在地	広島県福山市駅家町法成寺2808-1 (電話) 084-949-3230		
自己評価作成日	平成23年12月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	<a href="http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471503171&amp;SCD=320">http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3471503171&amp;SCD=320</a>
------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年1月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>個々で、毎年個人目標を立て、それぞれがスキルアップを目指していること。また日々の職員との会話や職員同士の会話を大切にし、個々の思いを皆で受け止め、直面している問題を勉強会や会議で検討し、チームで統一したケアを目指していること。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>全職員は、常に利用者と共にというスタンスで、「いつもあなたの隣にいてあなたの安心になります」を意識して、寄り添いながら一緒に買い物、家事、食事などを笑顔で支援している。介護記録は、常に個々のプランの目標を意識し、日々のケアが行えるよう工夫され、細やかなサービスへとつながっている。またチームワークもとれていて、コミュニケーションも良く明るく働きやすい環境にある。家族にとっても話し易く、要望への対応も早く、配慮も細やかで、医療面を含めて安心感があり、サービスの満足へとつながっている。前回の外部評価を踏まえ、地域との交流についても、運営推進会議や地域の総会への出席などで顔見知りも増え、交流の機会も少しずつ増えてきている。今年度は日頃の利用者や家族との関わりも含めて、接遇に重点を置き取り組んでいる。</p>
---

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の理念を作成している。	会社の理念を基に、ユニットごとに職員全員で話し合い、2、3年間隔で理念の見直しを行い意識づけと共有化を図っている。また具体的な行動目標も掲げ、理念の具体化に意識的に取り組んでいる。	新人職員には、日々のケアサービスにおける拠り所となる理念について、カンファレンスなどの機会でも繰り返し、理念を共有し実践できるよう、十分な説明と意識づけがなされることが望まれます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶を交わしている内、最近ではご近所の方から先に気付き、挨拶をしてくださる機会も増えてきた。野菜などを持ってきてくださる事もあり、交流する機会は増してきている。	前回の外部評価を踏まえ、地域の総会への出席など地域活動への参加が行われる様になり、顔見知りも増え、交流の機会も増えてきている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の高齢者の暮らしに役に立っているとはいえない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で取り上げられた内容はカンファレンスなどで報告、職員全員で検討を行い、サービスの改善・向上に活かしている。	家族、民生委員、地域包括支援センター職員、事業所職員が参加して、参加家族の思いや要望などを聞くと共に、自由な意見交換を行い、それらを職員会議で話し合い、できるだけ速やかに事業所の運営やサービスに反映されるように努めている。参加できない家族には、議事録を送り、情報の共有を図っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービス向上に努めている。	市の担当課に相談したり、介護保険事業所説明会に参加するなどして、連携を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会は定期的に行っており、研修に参加する場合もあり。学んだ内容をカンファレンスなどで発表し、職員全員で理解、認識しケアにつなげている。玄関、階段の施錠は夜間のみ行っており、日中は開放している。</p>	<p>身体拘束をしないケアの実践については、マニュアルを整備し、研修を定期的に行っている。職員に十分な認識を図っている。階段には、センサーを設置し自由に過ごしてもらえるように努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後活用していきたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし理解、納得して頂けるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置すると共に、面会時では、何か要望や意見がないかお聞きしている。運営推進会議や家族会など頂いた意見は職員全員に報告し、次に活かしている。</p>	<p>年4回開催の家族会や運営推進会議において意見や要望を聞いたり、また支払いをかねての毎月の家族の訪問時には、担当者が話を聞くようにしている。出された意見や要望は職員会議で話し合い、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個人面談の際やカンファレンス、日々の関わりの中で、意見を聞く機会をもうけている。	職員間はチームワークが取れており、話しやすい雰囲気づくりが出来ている。また年2回の個人面談を行い、意見を聞く機会を設けたり、ユニットごとのカンファレンスで意見を聞くようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の勤務状況や胸の内を語りやすいよう、日々の会話を大切にしている。定期的に面談や必要に応じて話し合いを行う機会をつくり、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業所全体で現任研修を行ったり、外部の研修に参加できるようにし、常に向上していけるよう努めている。また面談時、個々に目標を立ててもらいそれに向かって学び向上していけるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の研修に参加したり、実習で知り合った同業者とのつながりを大切にし、サービスの質を向上させていけるよう努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人に安心して日々過ごしていただけるよう、思いをくみ取ると共に、安心して胸のうちの話をいただける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご利用者とともにご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護される一方の立場に置かず、一緒に生活するなかで喜怒哀楽を共に感じあえる関係づくりを築けている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人の状態や気持ちに変化が合った場合は、面会時、又は電話などで報告し、ご本人との絆を大切にしながら、共に支えていく関係を築けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個々の馴染みの人や場所などを職員全体が把握し、面会時に談笑しやすい環境づくりや、外出時に馴染みのある場所へお連れしたりと支援に努めている。	今までの馴染みの関係の継続については、利用者の希望により、自宅周辺へドライブしたり、以前利用していたスーパーに行ってみたり、関係が途切れないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご利用者同士の関係を把握し、気の合うご利用者同士が時間を共有できる環境づくりに努めている。うまくかかわることが難しいご利用者には職員が傍に寄り添い、支えあえるような関係づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりという関係が築けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望・意向などを面会時にご家族や、日々の暮らしの中でご本人から聞き取り把握して本人本位に努めている。	詳細で丁寧なアセスメントや家族からの聴き取り、また日々のかかわりの中での行動や表情から、意向の把握に努めている。入浴時など、ゆったりと話を聞く時間になるよう心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後も面会時にご家族、ご本人よりお聞きしたことを記録に残し全員で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の一日の過ごし方や心身状態などを、口頭や記録などで細かく残し、全員が把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている。</p>	<p>月2回のモニタリングのもと、カンファレンスで話し合い本人、家族の意見を反映した介護計画を作成している。</p>	<p>面会時などの機会を捉え、家族へサービス担当者会議への参加をできるだけ呼びかけ、利用者の担当職員と一緒に、利用者の言葉も組み入れた介護計画を作り上げ、より一層利用者主体の計画となることが望まれます。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの内容などを細かく記録に残し、口頭でも情報を伝え合い、職員全員が情報を共有ながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>趣味や様々な活動に応じていけるよう、地域の行事に参加したり、ボランティアに来ていただいたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医及び、ご家族またはご本人が希望される専門の医療機関など、個々にとって適切な医療をうけられるよう支援している。</p>	<p>現在かかりつけ医は全員が協力医療機関となっているが、希望に応じて以前からのかかりつけ医へ受診したり、毎週の訪問診療など適切な医療支援がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師は、日々観察を行っており、係りつけの医療機関の看護師とも日々相談やアドバイスをいただきながら連携をとって支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は度々面会に行き、状態の把握・病院関係者から情報収集を行ったり、ご家族と連絡を取り合いながら情報の交換を行うなど、早期退院できるよう努めている。又、退院前には病院のカンファレンスにも参加している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	出来るだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし全員で取り組んでいくようにしている。	看取りに関する指針については、入居時に家族と話し合い同意を得ており、かかりつけ医の指導のもと医療行為も出来る範囲で看護師で対応し、状態の変化に応じて、話し合いながら、最後まで、その人らしく暮らせるように、全員で支援に取り組む体制が出来ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	一年に一回は訓練を行っている。そのほか個々で講習会に参加するよう促したり本で読んだりそれぞれ知識の向上に努めている。又、個々で勉強したことはカンファレンスで発表し、全員で情報を共有している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練で行ったり、地域の方々への協力も頂けるようお願いしている。	避難訓練は年2回行っている。2階の利用者を担いで降りる訓練も行っている。地域も高齢化が進んではいるが、民生委員を始め協力関係が出来てきている。玄関には、防災グッズが準備されている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個々の人格を尊重し、職員全員で声掛けや対応などに注意している。事業所内での勉強会も行っており、カンファレンスなどで対応の統一を行っている。	利用者一人ひとりのプライバシーや尊厳を大切に思い、勉強会やカンファレンスで話し合い、確認しながらの対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声掛けに変えたりと出来るだけ本人に選択していただいたりや個々に合わせて支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、個々のペースを大切に、ご本人の希望にそった一日を過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には色の好みやその日の気温などをお伝えし、複数の中から選択していただいたりや個々にあわせて支援している。又、昔馴染みの理髪店などを希望される場合はお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	買い物と一緒にいき、好物やその日に食べたいものをお聞きしている。又、メニューも一緒に考え、食事作りも手伝っていただきながら、食事が楽しみなものになるよう努めている。	日常的に利用者と共に買い物に行き、食べたい物を聞いて、できることを利用者一人ひとりの状況に合わせて、一緒に準備をして、共に食事をし、下膳や片付けを手伝ってもらったりしている。時にはお寿司を食べに外食することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日記録に残し、個々の平均値の把握もしている。個々に応じた形で対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあわせた方法で口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンや習慣を把握し、排泄の失敗により自尊心が傷つかないように注意しながら、できるだけ自立した排泄を行っていただけるよう支援している。</p>	<p>利用者に合わせたトイレ誘導を行って、布パンツに替えたケースもある。夜間も誘導するなどトイレでの排泄支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>すぐに薬に頼ることはせず腹部のマッサージや食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり、毎朝牛乳や豆乳を飲んでいただくなど、水分摂取の配慮などに努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えの少ない方も、曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている。</p>	<p>週2～3回の入浴を支援している。午後を入浴時間にあてているが、希望のある場合は夜間も対応するなど本人本位の支援をしている。また、身体状況に応じて二人で介助し、必ず浴槽で温まれるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間は決まっておらず、個々の希望される時に休んでいただいている。訴えない方は、表情を観察したり、声掛けを行いご本人が気持ちよく休んでいただけるよう支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬については参考資料を置いたり処方箋などで把握し全職員で共有している。新しく処方された薬は口頭や記録などに残し、全員が内容を把握するよう努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	今までの生活歴をご家族、ご利用者から伺い、それを活かせる環境づくりや、楽しめる時間を設け気分転換をしていただけるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	地域の方の協力をお願いしていないがご本人の希望がある日、または天気の良い日には出かけている。円歩や個別になる場合はご家族と相談し協力を得て行っている。買い物は全てご利用者と共に行っている。	日常的に散歩や買い物の外出を車イスの利用者も共に支援している。年に何回かは初詣やお花見などの行事での外出を家族の協力も得て行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族、本人よりご希望のある方は所持して頂き自由に使えるようにしていただいている。普段はお預かりしているが買い物時に所持して頂き一緒に買い物に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望がある場合は、自ら電話で話しをしていただいている、手紙は職員が投函し、安心していただけるよう、ご本人にお伝している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節のものを飾ったり四季を感じていただけよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えている。	居間は、明るく家庭的な雰囲気があり、テーブルやソファなどがくつろげる配置となっていて、利用者が自分の好みの居場所でゆったりされていて居心地の良さが伺える。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	色々な場所に机や椅子を置いており、ご本人が過ごしやすい空間づくりに努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居心地の良い空間で過ごしていただけるよう、使い慣れたものや馴染みのある家具をご家族に持ってきていただいている。	利用者それぞれが自分に合ったタンスや生活用品を持ち込んでいて、その人らしい落ち着いて生活できる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	できることはしていただき、できないところは手伝わせてもらっている。ご本人が不快にならないよう注意し、自然な声掛けや傍で見守りをさせていただき、トイレや居室などは人目で分かるよう表示している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	全職員が会社全体の理念を踏まえた上で行っていきたい介護像について話し合い、地域の中でより良く暮らせるよう事業所独自の理念を作成している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日々の挨拶はもちろんご近所の方々が野菜を持って来てくださったり事業所の花壇を一緒に手入れして下さったりと少しずつ交流が増えてきている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	直接地域の高齢者の暮らしに役に立っているとはいえない		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議で話し合った内容は、ミーティングにて検討し全職員で共有、改善、向上に活かしている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	市の開催する介護保険事業所説明会などに積極的に参加し、サービス向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての勉強会は定期的に行っており理解、認識しケアにつなげている。玄関、階段の施錠は夜間のみ行っており日中は開放している</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>勉強会で学ぶ機会をもうけ、各職員に意識づけている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所の勉強会などで学ぶ機会をもうけている。未だ必要性はないが今後活用していきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>細かく説明を行い、疑問があればその都度お聞きし理解、納得して頂けるよう努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置すると共に、面会時、運営推進会議や家族会などご意見をいただき、次に活かしている</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個人面談の際やカンファレンス、日々の関わりの中で意見を聞く機会をもうけている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の勤務状況や胸の内を把握する為、定期的に面談や必要に応じて話し合いを行う場面をもうけ、改善しながら働きやすい環境づくりに努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	事業所全体で現任研修を行ったり、外部の研修に参加できるようにし、常に向上していけるよう努めている。また面談時、個々に目標を立ててもらいそれに向かって学び向上していけるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の研修への参加、実習などで知り合った、地域の同業者との交流を深め横のつながりを大切にしている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人に安心して頂けるようにご本人の思いをくみ取ると共に、なじみの関係を築けるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご利用者とともにご家族に心から信頼していただけるよう、気軽に何でも言える雰囲気作りを心掛けている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケアマネージャーと連携を図り、その時必要なケアサービスを見極めていけるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者を人生の先輩として尊敬し、介護する側、される側としてではなく、一緒に毎日生活する中で楽しみ、悲しみなど共に感じあい、支える関係を築けている</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の悩み、思い、不安等も受け入れ、一緒にご本人を支えあえる関係づくりに努めている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>個々のなじみの方、なじみのある場所等を職員全員で把握し、関係が途切れないよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合うご利用者との関係を大切にし、生活の様々な場面で一緒に過ごしたり、ご利用者がうまく関わり合えない場合は職員が間に入り、孤立せずお互いが支えあえる関係づくりに努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了されたご家族が職員やご利用者に話しにこられたりといい関係が築けている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いや暮らし方の希望などをご家族やご本人から聞き取り把握して本人本位に努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの段階で確認を行い、その後も面会時にご家族、ご本人よりお聞きしたことを記録に残し全員で把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の状態を日々細かく記録に残し総合的にみて現状を把握している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ご本人、ご家族からお聞きし、全員で共有後、随時介護計画を立てている		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	日々の様子等細かく記録に残し必ず職員全員目を通し頭に入れている。ミーティングでも共有し実際のケアや介護計画の見直しにも活かしている		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	随時ご本人やご家族のニーズを把握、理解し全職員で前向きに検討し、支援、サービスを行っている		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	趣味や様々な活動に応じていけるよう地域の行事などに参加させていただいたり、ボランティアに来ていただいたりしている		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	主治医及び希望される医療機関など個々にとって適切な医療をうけられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師は日々観察を行っており、係りつけの医療機関の看護師とも日々連携をとって支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合は度々面会に行き、状態の把握、情報収集を行ったりご家族とも連絡を取り合い早期退院につながるよう努めている。また退院前のカンファレンスにも参加している		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	出来るだけ早い段階から主治医、ご家族と連携を密にし全員で取り組んでいくようにしている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	一年に一回は訓練を行っている。そのほか個々で講習会に参加するよう促したり本で読んだりそれぞれ知識の向上に努めている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練で行ったり、地域の方々への協力も頂けるようお願いしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員で声掛けや対応に注意している。また疑問を感じたら個別で、あるいはカンファレンスにて全体に伝え解決している。そのほか事業所全体の研修で勉強し対応の統一を行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員主体にならないよう十分に気を配っている。伝わりにくい方には選択できるような声掛けに変えたりと出来るだけ本人に選択していただいたりと個々に合わせて支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務、職員の都合を優先せず、一人ひとりのペースを大切に、その日その日の個々の希望にそった生活を送っていただけるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪型、服装などご本人に選択していただけるよう努めている。難しい方には二つの中から選択していただいたりと個々に合わせて支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューも一緒に決めたり買い物の段階から好みに合わせて対応したりと全て一緒に考え行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	毎日記録に残し、個々の平均値の把握もしている。個々に応じた形で対応している		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	個々にあわせた方法で口腔ケアを行っている		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	個々にあわせて行っている。オムツの使用は出来るだけ避け、排泄パターンを把握しトイレで気持ちよく排泄していただけるよう支援している		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	すぐに薬に頼ることはせず腹部のマッサージや食物繊維の含まれる食品を多く献立に入れたり乳製品を多く取る、水分摂取の配慮などに努めている		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	希望のある方は極力希望通りに対応している。訴えの少ない方も曜日や時間など職員の都合だけでなくご本人の思いや体調を大切にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入眠時間は特に決めておらず個々の生活習慣に合わせて対応している。また個々に応じて日中の休息の時間ももうけている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬については参考資料を置いたり処方箋などで把握し全職員で共有している</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>今までの生活歴をご家族、ご利用者から伺いそれを活かした楽しみごとや役割を持っていただいている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>地域の方の協力をお願いしていないがご本人の希望がある日、または天気の良い日には出かけている。円歩や個別になる場合はご家族と相談し協力を得て行っている。買い物は全てご利用者と共に行っている</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族、本人よりご希望のある方は所持して頂き自由に使えるようにしていただいている。普段はお預かりしているが買い物時に所持して頂き一緒に買い物に行っている</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙や電話を希望される場合は、個々人に合わせた対応をさせて頂いている		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節のものを飾ったり四季を感じていただけよう努めている。冷暖房器具の調節、カーテンの調整などに配慮している。常にご利用者の立場で考えている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	いろいろな場所で過ごせる様椅子を配置したり選択できるような声掛けを行っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	在宅時とあまり環境が変わらないよう極力馴染みもののものを持ってきていただいている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来る事はして頂き、できないところをそっとサポートさせて頂いている。少しの段差にも必要ならばこまめに声を掛けたり居室・トイレ等は場所がわかるよう表示している		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームようき法成寺

作成日 平成24年2月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成時、ご家族の思い、意見等を反映しているが十分ではない。	ご利用者の思いや言葉、ご家族の意見をより取り入れた介護計画の作成	面会時にアセスメントの段階でご意見や思いをお聞きしたり、ご利用者の言葉を組み入れ、よりご利用者主体の介護計画を作成する。	半年以内
2	1	全職員（特に新人職員）に法人理念、事業所理念の意識統一が不十分	全職員が理念のもと統一したケアが行われていく体制作り	・カンファレンス時、個人面談時等理念を共有できるように繰り返し伝え、実践につなげる。 ・法人全体で今年度よりISOに基づいたマニュアル作成によりスムーズに伝わる体制を作る。	1年以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。